

学習内容報告書 フォーマット

学校名	関西大学初等部
授業者	孕石 泰孝

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

かぐや姫と海の生き物

1-2. 学年

小学3年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

海の生き物の生息域や食性を調べ、調べたことを言葉や身体で表現して伝える。また、「どうしてこんな姿なんだろう?」「なぜそんな特徴があるんだろう?」という疑問を持ったり、他の班の発表を見たりすることで、海の豊かさを知り、海を守ろうとする心を育む。

1 コマ目は調べ学習を行い、生き物の住んでいる場所や食べ物について調べて、Keynote アプリにまとめる。

2 コマ目は外部講師を招き、「かぐや姫と海の生き物」というシナリオを即興劇の形で進める。シナリオの進行には、「海の生き物の生息域や食性について発表する」ことが必要であり、調べ学習や小集団での話し合いを元に、外部講師と協力して即興劇を進め、海の豊かさやそこに生息する生き物への興味を喚起する。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

楽しみながら、いろいろな海の生き物について調べる学習に取り組む。海にも浅瀬や外洋深海など多様な場所があること・生物は餌や身を隠す場所があるところに住んでいることを、創作的な体験を通して実感し、生き物に関心を持つ。

また、外部講師を招いて、楽しみながら小集団で発表することで、それぞれ調べた知識を共有する方法を学ぶ。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・海には様々な生き物が生息しており、多様な形態や能力を持っていると理解することができる
(知識及び技能)
- ・調べた内容や知識を人に伝えることができる (思考力・判断力・表現力等)
- ・海の豊かさを知り、尊重する態度を育てる (学びに向かう力・人間性等)

1-7. 単元の展開（全 3 時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2	<p>1. 海の生き物について調べ学習を行う。【一斉】</p> <p>(1) 海の生き物をひとつ選び、その特徴や能力を調べる</p> <p>(2) 生き物の持つ特徴や能力について疑問に思った点を書く。</p> <p>2. 調べた内容をタブレットの Keynote にまとめ、提出する。【一斉】</p>	
3	<p>1. 今日の授業の見通しを持つ。【一斉】</p> <p>外部講師による「かぐや姫と海の生き物」のデモンストレーションを見る。</p> <p>2. 小集団に分かれて、発表内容を考える。</p> <p>3. 「かぐや姫と海の生き物」即興劇【一斉】</p> <p>児童はかぐや姫の「この生き物を月で飼うためにはどうしたらいい？」という質問に班ごとに応える。</p> <p>4. 海の生き物の特徴や能力について考える。【一斉】</p> <p>(1) 感想を書き、発表する。</p> <p>(2) 教員からのまとめ</p>	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいても構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

1 時間目に知った生き物の生息地やエサ、その他の特徴を元に、即興的に出される課題に対して適切な回答をチームで検討することができる。
 検討したことを元に、相手に伝えることができる。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1. 今日の授業のみとおしを持つ。【一斉】</p> <p>（1）外部講師による「かぐや姫と海の生き物」のデモンストレーションを見る。</p> <p>月に帰ったかぐや姫役の外部講師が、シナリオ中の目標を伝える。</p> <p>かぐや「かぐや 関大初等部 3 年生のみなさんこんにちは。私は、かぐやです～。こちら、月からの中継です。えーっと地球のことが懐かしくなって、孕石先生にお願いして、皆さんとお話するために来ました」</p> <p>アシ 「かぐや様！そうじゃないでしょ！！ （小学生に）こんにちは。アシスタントのカップーです。実は、このかぐや様が、月に地球の海から生き物をたくさん連れて来てしまって・・・困ってるんです」</p> <p>かぐや 「えー。だってかわいかったんやもんー」</p> <p>アシ 「もう！どうするんですか！月には水がないんですよ！それなのに、海の生き物をあんなにたくさん・・・どうするんですか！！」</p> <p>かぐや 「ペットとして飼う」</p> <p>アシ 「だめです！地球に返してください！」</p> <p>かぐや 「え～。ちゃんと飼うから。それに、どこに住んでたとか、いちいち覚えてへんし」</p> <p>アシ 「あー。もう。そのために、どこに返したらいいか、教えてもらうんでしょ？ちょうど海の生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を紹介する

き物を調べていた関大初等部の皆様に」

かぐや 「いやや！飼いたい！」

アシ 「だめです！じゃあ聞きますけど、どうやって育てるかわかりますか？じゃあ、例えば、この生き物！」

***カニの映像**

かぐや 「そうそう。赤くて可愛いやつ」

アシ 「何を食べさせるんですか？」

かぐや 「う…」

アシ 「どんなところで飼ったらいいんですか？」

かぐや 「羽毛ぶとんとか・・・？」

アシ 「はあ～（ため息）ほら。ちゃんと飼えないでしょう？だからだめなんです！どこに返したらいいか、教えてもらってくださいね」

アシスタント画面から去る

かぐや 「って、カッピーは言ってたけど、ちゃんと責任を持って、餌とか、飼い方を調べられたら、飼ってもいいって言うってくれると思うねん。あと、こんなすごい特徴がある、とか。」

かぐや 「そんなわけで、今からこの7つの生き物、どうやったら月で飼えるか相談に乗ってもらえるかな・・・？」

***7つの生き物スライド**

***教えて欲しいことスライド**

「どんなすみかをじゅんぴしたらいいか？」

「食べ物」

「みりよく・すごいこと」

2. 相談に応えるためには、どの生き物の能力が必要か話しあい、検討する。【小集団】

3. 海の生き物飼育相談会【一斉】

・クラスを7-8班の小集団に分け、担当の生物を確認する。

・「教えてほしいこと（エサ・生息地・特徴）」を整理し、再確認する。

(1) 小集団ごとにカメラ前に移動し、かぐや姫の相談にのる。その様子はスクリーンに映し出され、クラス全員に共有される。

例)「クリオネ」

かぐや「どんな水槽で飼ったらいい？金魚鉢とか？部屋に置いたらかわいいよね～」

児童「…」

かぐや「どんなところに住んでるの？」

児童「クリオネは、北極とか南極とかの海に住んでます」

かぐや「ええ！冷たい海か～それはちょっと難しいかも…」

(2) 各班の相談終了後、飼えるか飼えないかが微妙な生き物についてはかぐや姫がクラス全員にこの生き物を月で飼えるかどうか尋ねる。

かぐや「【クリオネ】を月で 飼える？ 飼えない？」

*クラスで多数決をとる

<飼える場合>

かぐや 「カッピー。クリオネは、飼えます！（説明をする）」

アシ 「仕方ないですね。わかりました！じゃあ、手配します！」

<飼えない場合>

かぐや 「カッピー。シャチは、地球に返します！（返す場所の説明をする）」

アシ 「わかりました！手配します！」

(3) 全班が終了後「かぐや姫と海の生き物」ラストシーンが演じられる

かぐや 「よし。これで飼える海の生き物は**と** **か。かなり大掛かりな工事が必要になるけど…なんとかなるかな！よし。」

アシスタントが電話を取る

アシ 「はい、はい…ああそうですか！申し訳ございません。わかりました。(電話を切る)

<p>かぐや様・・・月のSDGsに違反するという ことで、地球の生き物を飼うのは禁止になりま した・・・」</p> <p>かぐや 「SDGs、あの、地球で話題になっている 17 個目標があるやつ」</p> <p>アシ 「はい。真似して月でも作ったんです。」</p> <p>アシ 「仕方ないですよ。生き物を飼うのは大変なん です。」</p> <p>かぐや 「ううう。関大初等部3年生の皆さん、あり がとうございました～！」</p> <p>4. 海の生き物の特徴や能力について考える。【一斉】</p> <p>(1) 最終発問を聞き、考える。</p> <p>教員「今、みんな考えてもらったのは、劇の中の出来 事だったけれども、本当に未来で科学が進んだら、い ろんな生き物を宇宙で飼えるかもしれません。そのこ とについて賛成ですか？反対ですか？」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最終発問を提示する ・ 感想を書く用紙・タブレットの指示する
---	---

3. 今回の活動の自己評価

外部講師を呼び多様な視点を持った即興的なやりとりをすることで、調べたことを応用的に検討することができた。また、他者の調べたことを楽しく共有することができた。

最終発問の問いに対しても、「賛成」「反対」それぞれの意見も倫理的な側面や、生物が生育するのに必要な多様な環境に触れた意見が聞かれた。

「海には様々な生き物が生息しており、多様な形態や能力を持っていると理解することができる」という点では多くの児童が海の多様さについて興味を持つことができた。

4. 今後の課題

児童の声が小さくマイクが拾いきれなかったため、外部講師が何度か聞き返す場面が見られた。また、調べた内容をタブレットのKeynoteでまとめたが、タブレット画面をカメラに向けて共有していた。オンライン用機材の操作や設置に課題を感じた。

2時間目の内容が盛りだくさんで、7班全てを発表し、検討するには時間数が短いように感じた。新型コロナウイルスの対策のため、班の人数の制約があったため、7班になったが、5～6班程度が時間的に適当であると感じた。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点